

第7回貿易のための援助（A f T）グローバル・レビュー会合 （結果概要）

令和元年7月
経済局国際貿易課

1 7月3日から5日まで、ジュネーブのWTO本部にて貿易のための援助（A f T）第7回グローバル・レビュー会合が行われたところ、概要以下のとおり。

【参考】貿易のための援助（A f T : Aid for Trade）

貿易分野における能力構築やインフラ供与などの途上国支援の総称。途上国の貿易関連能力の向上による経済発展と貧困の削減を目的としている。

2 主な出席者

アゼベドWTO事務局長、グリアOECD事務総長、キトゥイUNCTAD事務局長、ゴンサレス国際貿易センター（ITC）事務局長の他、国際金融公社（IFC）、世界銀行、東・南アフリカ市場共同体（COMESA）、アジア開発銀行、国連工業開発機関（UNIDO）等国际機関及び経済共同体の長レベル、フン・セン・カンボジア首相、トゥーレイ・ガンビア副大統領、スキナリ・フィンランド国際協力・通商大臣等各国の首脳級及び貿易・開発担当閣僚級が参加。我が国からは飯島外務省経済局審議官が出席。

3 議論の概要

今次会合では、「貿易のための援助を通じた包摂的、持続的な開発のための経済多様化及び強化（Supporting Economic Diversification and Empowerment for Inclusive, Sustainable Development through Aid for Trade）」をテーマに経済多様化、女性参画が主要議題として多くのセッションで扱われた他、後発開発途上国（LDC）卒業、貿易分野のキャパシティ・ビルディング、貿易円滑化、貿易のためのインフラ整備等も議論された。また、経済多様化とともにデジタルコネクティビティの重要性が活発に議論され、デジタル化が経済多様化のために不可欠であるという認識が共有された。

我が国はA f T主要ドナー国として、アフリカ開発会議（TICAD）プロセスやABEイニシアチブ、官民連携のためのプログラム等アフリカで多く行っているプログラムを紹介した上で、インフラ整備、キャパシティ・ビルディング、主にLDCを中心とした途上国のWTO加盟支援等を通じた我が国の貿易のための援助全般について紹介した。

